

会議録

会議の名称	西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（第6回会議）
開催日時	平成25年12月17日（火曜日） 午前10時から午後0時5分まで
開催場所	西東京市立ひばりが丘中学校1階 視聴覚室
出席者	委員：前島京、大槻暁子、吉村美穂子、門馬晶子、河野美晴、岩崎正敏、池田めぐみ、梅原后代、真鍋五十鈴、佐藤裕子、佐藤美和子、久能正吾、野澤幸美、飯島享 事務局：櫻井勉（教育部長）、坂本眞実（教育企画課長）、早川礼成（教育企画課長補佐(企画調整係)）、岡本範子（教育部副主幹(企画調整係)）、福井光（教育部教育企画課企画調整係主事）、中村幸雄（教育部教育企画課学務係長）
傍聴者	0人
議題	1 開会 2 会長指名の報告及び副会長の指名 3 自己紹介 4 会議録の確認 5 これまでの検討について 6 学校とコミュニティについて 7 次回の開催日程について 8 その他 9 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（第5回会議）会議録(案) 資料2 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会設置要綱 資料3 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会委員名簿 資料4 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会これまでの主な検討事項について 資料5 中原小学校・ひばりが丘中学校の学校施設建替えに関する基本方針 資料6 学校とコミュニティ「開かれた学校づくり」「地域とともにある学校づくり」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

議題1 開会

議題2 会長指名の報告及び副会長の指名

「西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会設置要綱」に基づき、教育長から野澤委員（ひばりが丘中学校長）を会長に指名。その後、野澤会長から門馬委員（生徒の保護者）を副会長に指名。

議題3 自己紹介

各委員及び事務局から自己紹介

議題4 会議録の確認

○会長：

前回第5回の会議録(案)について事前に送付しているが、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。

○会長：

何もないようなので正式な会議録とする。

議題5 これまでの検討について

事務局：

資料4・資料5に基づき説明。

○会長：

資料4によるこれまでの検討と本協議会の位置付けだが、来年度からの建替検討協議会では、準備検討協議会での議論をふまえて基本構想や基本計画が作られるということである。今の説明に何か御質問や御意見はあるか。まだ、用地買収の協議に入っていないということか。

事務局：

平成26年度からの総合計画に財政措置的な位置付けをしていく予定であったため、これまで買うという意思表示を正式にできる段階ではなかった。来年以降、正式に公文書で意思表示を行い、その後売買契約をするという2段階構えになると考えている。

委員：

他の方に土地が売られ、購入できる土地がなくなることはないのか。

事務局：

学校の必要面積よりも相当広い土地を残してもらっている。

議題6 学校とコミュニティについて

○事務局：資料6に基づき説明。

（説明後、地域社会の力を生かし、地域の教育能力を向上するとともに安全安心な開かれた学校づくりを進めてきた例として、実際に地域の教育関係に携わられている4人の委

員に御自身の活動を紹介いただいた。)

○委員：

私の関わる学校運営連絡協議会についてお話しする。地域に根ざした開かれた学校づくりを目的に、このような会が小・中学校に設置されたのは12・13年前になると思われる。構成員は地域の関係者、保護者、学校関係者である。活動の内容としては、学校の教育活動への助言や意見を言っている。年3回会議が開催され、1時間程度話し合いを行っている。そのためには会議に出席する以外に年間の教育活動を知ることが必要だと考えており、運動会等の行事には学校へ足を運び生徒の様子、先生方の色々な努力の様子を見させていただいている。

○委員：

私の関わっている育成会の活動をお話させていただく。育成会は、青少年の健全育成を目的に各小学校に設置されているボランティアの自主団体であり、地域の大事な組織である。学校運営協議会や避難所運営協議会、防犯パトロール、社会を明るくする運動への取組等学校活動に関わる諸団体に協力している。学校が活動母体であるため、活動には学校の協力が欠かせない。校長先生の考えによって活動のしやすさが影響される。市の補助金をもらいつつ、諸活動や夏祭り・スポーツ大会等のイベントを企画している。子供は先生がイベントに参加すると、日ごろの学校生活とは異なる顔を見せてもらったりし、とても喜んでいいる。また、保護者は、日頃忙しい先生に、こういう場を生かし、気軽に色々とお話をしているようである。学校と協力関係を保ちつつ、良いまちづくりのために皆が手をつなぎ合っていきたい。

○委員：

私も自分の関わっている育成会の活動をお話させていただく。ラジオ体操やお祭り等の活動を行ってきて10数年経った。チラシの配布や施設の利用で学校と関わりがあり、校長先生には協力いただいている。学校運営協議会や避難所運営協議会等地域の色々な活動にも参加させていただいており、あいさつ活動では、毎朝校長先生にもご挨拶をいただいている。学校が育成会を理解していることを感謝して活動を行っている。

○委員：

私は、学校施設開放運営協議会についてお話させていただく。学校施設開放運営協議会は、社会教育課に属していて、地域生涯学習、校庭開放を行っている。地域生涯学習は、PTAや育成会等と協力しつつ、料理教室・ハロウィンパーティー・餅つきを実施している。お互い顔が分かる関係づくりを目指して活動をしている。

○委員：

補足としてお話させていただく。子供が健やかに育っていくためには、親や学校生活だけではなく多世代と関わり様々な体験ができる地域のコミュニティは、とても大事だと感じている。立ち話等でおしゃべりすることがないと何も始まらない。せっかく集まったならば、この人はどういうことをしているのか分かるまでにならないと地域のコミュニティはできないと思う。育成会や地域でそういうことを必要だと思った人が立ち上がった時につなぐ場所が学校だと思う。学校を場につないでいくことができ、そこでで

きた関わりを子供に還元していく。

○会長：

4人の委員からお話があったが、御質問・御意見等あるか。

○委員：

他校で実施している校庭の芝生の維持管理等学校のハード面においても地域コミュニティとどういう関係にあるべきか考えていく必要がある。

○委員：

育成会の方たちはとても頑張っておられるが、保護者の中でそれを分かっている方は多くない。育成会自体を知らない人もいる。PTAだけでなく育成会の協力があっての学校だということを周知していければと思う。

○委員：

PTAでも色々と企画するが、仕事や子供の意思等で中々保護者が参加してくれない状況である。入学式等で発信をして続けていくしかないと思う。保護者が参加しないと地域の方も参加しないと思う。

○委員：

建替えについて通学距離等色々と課題があるかと思うが、具体的ににならないと出てこない部分もある。出てきたものを一つ一つ考えていけたら良いかと思う。

○委員：

PTAの方からも民生委員が何をしているのか伝わっていない部分があり、行事があるたびにお知らせをしているが、まだPRが足りないと感じている。もっと顔を出して地域に関わっていければと思う。

○委員：

たくさんチラシ等を作っても育成会のことを知らない、学校がやっていると思う子供や保護者がいる。頻度を上げて学校に行き、触れ合う機会やつなぐ機会を増やすようにしている。学校と協力しつつ運営の傍らにいらればと考えている。常に発信していくことが大事であると考えている。

○委員：

保育園児は建替えの最中に関わってくるが、この建替えの内容だけでなく育成会や運協の活動も含めて伝えられればと思う。

○委員：

地域を育てている方があっての学校である。育成会等の活動を保護者に浸透させるのは中々難しい事であり、理解している人はまだまだ少ない。色々な教育活動を通して引き続き保護者の方にも知ってもらえるようにするとともに、地域に入っただき学校を支えてもらいたいと考えている。

○会長：

どこの校長も地域の方や保護者の方となるべく連携していきたいと考えているのではないか。地域と学校が上手く関わって健全に子供達が育っていくことが大切だと考えている。新しい学校になっても地域と学校が色々に関わる中で子供達が育っているという視点で今後も具体的にお話できればと思う。

議題7 次回の開催日程について

事務局：

第7回会議を来年の1月、第8回会議を2月に予定している。第7回会議でこれまでの検討経過を報告書案としてまとめて、提示をしたいと考えている。次の第8回会議では、意見をいただいた報告書案に御確認をいただき、最終報告書としてまとめ、その後教育委員会に報告する予定である。日程調整をさせていただき決まり次第御案内をする。

議題8 その他

○事務局：

今後の大まかな建替えのスケジュールについては、第1回会議の資料の「学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会平成23年度における検討結果 最終報告書」の15ページを御確認いただきたい。

閉会